

事業所全体による自己評価

(数値は%)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	85	15	0	子どもの特性に合わせ、構造的に分けている
	2	職員の配置数は適切であるか	100	0	0	基準上は適切であるが。利用者の障害状況によっては足りないと感じることがある
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	85	15	0	トイレは障がい者ようになっていない。手すり等が無い。トイレは2か所あり、使いやすくなっている(スライドドア)
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	85	15	0	ミーティングで振り返りが行われている
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100	0	0	年に1回のアンケート調査の実施。保護者等の意向等を支援会議にて業務改善を行っている
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100	0	0	ホームページに公開している
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	—	—	—	第三者による外部評価は行っていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100	0	0	zoomによる研修会に参加、虐待防止、自閉症、発達障害の研修など。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	85	15	0	子ども保護者のニーズを意識し、日々の変化を記録し、検証し計画に反映させている
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	85	15	0	標準化されたツールを使用している。自社での成長に合わせた認知力評価システムがある。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100	0	0	日々のミーティングにて行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100	0	0	利用者さんが、飽きないように支援方法を工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	83	17	0	調理教室、外出、近隣の公園や集会所を利用し運動をしている
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100	0	0	子ども達一人ひとりのニーズに合わせて組み合わせている
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100	0	0	毎日、出勤後ミーティングを実施している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100	0	0	翌日のミーティングで振り返りを行っている。非常勤の方打ち合わせに参加できない方に日々の出来事を書いた連絡簿で確認して頂いている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100	0	0	支援の終了後、子ども一人ひとりの個人記録表に記録している

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	85	15	0	定期的に個別支援会議を開催し状況を確認し、見直しがあれば検討している
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	71	29	0	子ども一人ひとりの状況に合う、支援を行う上で、基本活動を参考にしている
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100	0	0	担当者会議には、自発管、担当者が参加している
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100	0	0	連絡帳、電話にて確認している。送迎時のトラブル発生時は学校とマニュアル的に打ち合わせを行っている
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	—	—	—	該当なし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100	0	0	個人情報等の問題もあり、児童発達事業所、相談員さんを通し、情報交換をしている
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	100	0	0	新たな事業者、ご家族と連携し情報を提供している。時頼、様子伺いに訪問している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	83	17	0	問題、解決のための助言を伺っている。支援センター主催の研修会も参加している
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	—	—	—	コロナ5類ご、インフルエンザ感染者が増え、交流は出来ていない
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	100	0	0	参加している(リモート会議)
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100	0	0	送迎時、保護者に対して報告するように心掛けている。保護者の都合の良い時に訪問している
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	50	50	0	具体的なペアレントトレーニングは行っていないが、支援方法を伝えし、ご家庭にて出来る事を伝えている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100	0	0	契約時に丁寧に説明するように心掛けているが、保護者の都合により、要点を伝え後日説明している
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100	0	0	保護者からの悩みを受け止め何が子どもに良いか色々な情報を伝えながら話し合っている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	0	100	令和5年度、保護者会は開催せず施設への要望、意見をお聞きしたい。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100	0	0	速やかに対応するように心掛けている。保護者からの意見を職員全員で共有している
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	57	43	0	行事予定は予定表、連絡帳にて連絡をしている。
	35	個人情報に十分注意しているか	100	0	0	鍵付き書庫に保管している、ケア会議、緊急時以外の持ち出しはしていない
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	71	29	0	子どもや、保護者との意思の疎通がないように、こまめなコミュニケーションを心掛けている
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	—	—	—	現在行っていない
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	0	0	100	保護者への周知は出来ていない、今後実施し予定
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	57	43	0	避難訓練は2回に分け全員参加できるように計画を立て記録を残す
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	85	15	0	毎月の支援会議に定期的に虐待防止の議題を入れ、検討している
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	—	—	—	現在該当なし
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	—	—	—	現在該当なし
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100	0	0	インシデントレポートを作成し、事故の再発防止に努めている

児童デイサービスねっ子 令和6年1月実施